

# 釧路川治水100年記念事業

## 釧路川治水100年 ～ 洪水から地域を守り、地域の発展に貢献 ～

大正9年に釧路地方を襲った大洪水は人々の家屋や尊い人命までも濁流の渦へと巻き込みました。この大洪水を契機に北海道庁の「北海道治水調査会」の基本調査を基に治水計画である「釧路川治水計画」が策定され、翌年の大正10(1921)年、釧路川常呂川治水事務所の開設や工事着手により、釧路川の本格的な治水事業が始まりました。

この治水事業から令和3(2021)年で治水100年を迎えます。

この間、先人達の努力の積み重ねにより、かつての釧路川河口の釧路港を中心に栄えた釧路市街地は、いまや新釧路川を越えて市街化が進み、東北海道の中核・拠点都市を形成するとともに、釧路港は水産業の一大拠点及び国際物流拠点としてさらなる発展を遂げました。



掘削機エキスカベーター作業状況

## 釧路川治水100年記念事業

釧路川の治水事業が始まって100年という節目の年を迎え、先人達の遺業を讃えるとともに、改めて流域の発展の基礎となった釧路川の治水の歴史を振り返り、治水事業の担った役割等を再認識し、釧路川流域のさらなる発展と防災意識の向上にむけて、様々な主体と連携し各種取組を実施します。

主催：釧路川治水促進期成会

(釧路市、標茶町、弟子屈町、釧路町、鶴居村)

釧路開発建設部、釧路総合振興局

主な取組：

- ・ 釧路川治水100年記念\_フォーラム  
[令和3年11月20日(土)PM 釧路市観光国際交流センター]
- ・ 釧路川治水100年記念\_パネルリレー
- ・ 釧路川治水100年記念\_見学ツアー
- ・ 釧路川治水100年記念\_釧路川生き物観察会 (水生生物調査)
- ・ 釧路川治水100年記念\_植樹イベント (春・秋)
- ・ 釧路川治水100年記念\_釧路川クリーン作戦
- ・ 釧路川とのなつかしい思い出の写真募集 (市民参加型)



釧路川治水機械掘削1周年記念  
集合写真 大正12年7月8日



釧路川新水路誕生の瞬間  
昭和5年10月1日

釧路川治水100年記念ロゴマーク



釧路川の豊かな自然と共に歩んだ歴史を振り返り、治水が地域に果たしてきた役割とこれからの未来を展望する姿を、釧路川治水100年の「100」をメガネや双眼鏡に見立てたイメージ四季折々の表情を見せる釧路湿原とタンチョウをモチーフに、釧路川治水の歴史の象徴である岩保木水門を覗かせました

釧路開発建設部HP  
釧路川治水100年 QR CODE



URL <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/b0sadt00000gbl.html>

西暦	1920	1921	1922	1923	1924	1925	1926	1927	1928	1929	1930	1931	1932	1933	1934	1935	1936	1937	1942	1943	1944	1947	1948	1949	1951	1954	1959	1960	1961	1962	平成	3年	5年	6年	11年	13年	15年	17年	18年	20年	23年	26年	28年	30年	令和	元年	2年	3年												
年号	大正9年	大正10年	昭和2年	昭和6年	昭和11年	昭和16年	昭和22年	昭和24年	昭和25年	昭和27年	昭和29年	昭和30年	昭和31年	昭和33年	昭和34年	昭和35年	昭和36年	昭和37年	昭和42年	昭和43年	昭和44年	昭和47年	昭和48年	昭和49年	昭和51年	昭和54年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	平成3年	平成5年	平成6年	平成11年	平成13年	平成15年	平成17年	平成18年	平成20年	平成23年	平成26年	平成28年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年														
主な出来事	未曾有の大洪水 死者・行方不明者10名	8月、釧路十勝地方の豪雨で釧路川、阿寒川が氾濫 釧路川の本格的な治水事業開始	岩保木水門工事着手	9月、台風による洪水 死者・行方不明者24名	10月、台風による洪水 死者7名・行方不明者6名	9月、釧路川通水式・釧網線開通	釧路川中上流部の改修工事に着手	標茶町開運橋上流・釧路川切替工事竣工	3月、十勝沖地震	標茶左岸旭町・多和町築堤工事竣工	標茶町市街下流右岸築堤に着手	標茶町左岸ルラン築堤工事竣工	標茶町左岸富士町築堤工事竣工	開運橋竣工	南弟子屈新水路掘削工事竣工	3月、大雨による融雪洪水(戦後最大の洪水)	オホソウ左岸築堤竣工	オホソウ新水路掘削に着手	磯分内掘削工事に着手	釧路川が1級河川に指定	標茶右岸引堤着手・五十石橋竣工	熊牛築堤に着手	開運橋の伸長、拡幅工事に着手	沼幌地区・オソベ川の浚渫に着手	弟子屈市街築堤に着手(昭和56年竣工)	標茶左岸引堤に着手	浸水家屋695戸	10月、台風による洪水	釧路川水系工事実施基本計画の改定	岩保木水門の改築に着手	瀨文平築堤に着手	オソベ築堤の浚渫に着手	釧路川治水70年記念事業開催	1月、釧路沖地震	10月、北海道東方沖地震	10月、北海道十勝沖地震	旧釧路川を釧路川に名称変更	「釧路湿原の河川環境保全に関する検討委員会」の設立	釧路川水系河川整備基本方針の策定	標茶河川防災ステーション竣工	釧路湿原自然再生協議会設立	9月、北海道十勝沖地震	新釧路川が土木学会推奨土木遺産に認定	茅沼地区旧川復元工事竣工	3月、東日本大震災による津波被害発生	釧路川水系河川整備計画の策定	3月、前線を伴った低気圧や融雪により標茶水位観測所で戦後2番目の水位を記録	8月、停滞した前線と台風による洪水	河津浸食等10箇所被災	新釧路川が土木学会推奨土木遺産に認定	3月、前線を伴った低気圧や融雪により標茶水位観測所で戦後3番目の水位を記録	久着呂川湿原流入部土砂調整地の工事竣工	釧路川治水100年	大正10年新釧路川掘削工事から100年	3月前線を伴った低気圧や融雪により標茶水位観測所で戦後3番目の水位を記録	久着呂川湿原流入部土砂調整地の工事竣工	釧路川治水100年	大正10年新釧路川掘削工事から100年	3月前線を伴った低気圧や融雪により標茶水位観測所で戦後3番目の水位を記録	久着呂川湿原流入部土砂調整地の工事竣工

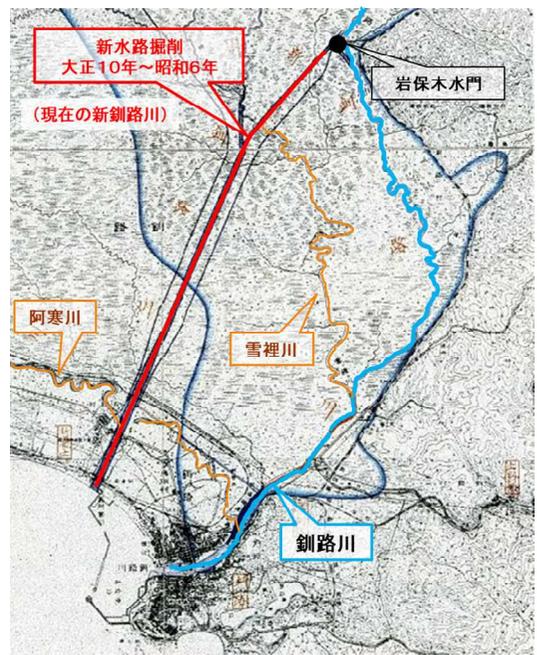


**1920年(大正9年) 洪水時の氾濫状況**

未曾有の大洪水が釧路市街地を襲った  
死者・行方不明者10名、2000戸以上の家屋の流出・浸水等の被害が発生

**釧路川新水路誕生の瞬間 昭和5年10月1日**

ようやく10年目にして通水の日がやってきた  
切替通水当日の貴重な写真である 関係者のすべての努力はこの日のためにあった



釧路川治水計画平面図(大正9年)  
大正9年洪水を契機に、釧路川治水計画による新水路掘削工事に着手(赤線部:延長11.2km)



**最新鋭のエキスカベーターによる掘削**

泥炭湿地の新水路掘削にはエキスカベーター掘削機が採用された 掘削面に沿わせたバケットで削り取る様に掘削し、20トン機関車が引っ張る運搬車に積載 公称掘削能力90m<sup>3</sup>/hは当時の土工夫の150人分に相当する  
エキスカベーター3台、機関車4台が活躍

**エキスカベーター線路の基礎杭作業**

エキスカベーターの線路を基礎杭で固定する作業 モンキーと呼ばれるおもりを女性人夫達が打ち落とす 土木女子(ドボジョ)の始まり?



**機関車の脱線事故**

土運搬線路下は地盤も悪く、保線が難しい  
たまたま脱線することがあった  
サアどうするか・・・という光景



釧路川通水式典 昭和6年9月19日

**通水式の日の岩保木水門**

釧路川通水式は、満州事変の勃発や、国内では昭和恐慌と言われる不況のさ中ではあったが、逆に不景気を吹き飛ばそうと言う機運から、来賓300余名を迎え盛大に挙行された また、翌日には釧網線の全通式も行われた

